

05 冬合宿報告書

デンソ - 山岳部

南アルプス 夜叉神峠 ~ 鳳凰三山

05 12.29 ~ 31

メンバー

CL 板倉、SL 亀山、藤田(健)、町田、金子、竹内、山田、長島



コース
概念図



【行動記録】

12 / 29 (木) 快晴

6:30に起床する。テントを張って宿泊した道の駅駐車場から車を走らせ、7:30に夜叉神峠登山口に到着する。装備を装着した後、7:45に登山口を出発する。登山道は樹林に覆われているため、比較的雪が少ない。比較的緩やかな斜面を登った後、9:00に夜叉神峠に到着する。ここでは、樹林が開けており、南アルプスの北岳、間ノ岳、農鳥岳の綺麗な景色を見ることが出来た。雲一つ無く、とても爽快な景色である。その後、再び樹林帯に入り、少し急な斜面を登る。急な斜面を登り終えると、ほぼ平坦な尾根沿いの登山道になるため、軽快に歩くことが出来た。また、樹林の所々が開けており、綺麗な富士山や南アルプスを鑑賞することができた。標高が高くなるにつれ、積雪量が増えてきたが、既にトレースが付いていたため、比較的楽に歩くことが出来た。やがて、登山道が下りとなり、30分程下った後、13:45に本日の目的地の南御室小屋に到着する。テントを張る場所は、膝の高さまで雪が積もっていたので、全員で列を作って雪を踏み固めて、テントを張る場所を確保した。15:00にテントに入り、酒を飲みながら歓談を交わした後、夕ご飯を食べ、19:00に就寝した。

山田 記

12 / 30 (金) 快晴

6:15 南御室テン場発
6:55 富士山日の出
7:25 - 35 砂払い
8:05 薬師岳山頂 通過
8:40 - 55 観音岳山頂 360°
VIEW オベリスクが見える
10:25 - 42 地藏岳山頂
11:55 - 12:05 観音岳
13:30 南御室小屋テン場戻り



暗い中出発。寒さで手足が痛かった。しばらくして右手に日の出。富士山はシルエット。一年の締めくくりに富士山と日の出が一緒に見れたので良かった。薬師岳山頂通過。観音岳に登りつくと360°のVIEW。地藏岳のオベリスクもくっきり見えた。左手に北岳、前方に甲斐駒、右斜め前方に南アルプスをバックに八ヶ岳連峰、右手には甲府盆地が低めの山々の帯に囲まれ広がり、広大な眺望を堪能、全員で記念撮影をした。雲ひとつない青空に、雪に覆われた山々の純白が眩しかった。その後地藏岳へ。オベリスクは登らなかったが小休憩の後、岐路に着く。花崗岩の山肌は燕岳や夏合宿の旭岳を髣髴とさせた。夜は豪華にすき焼きとチゲスープで、冷え切った体を温めた。

長島 記

感想

- ・雪の中にテントで寝てみて、冬山の厳しさの一つ「寒さ」を体感した。
 - ・雪が光に反射し、ダイヤモンドの粉を散りばめたように美しかった。
 - ・黒いシルエットの富士山は、いつも見る富士山とはまた一風違って珍しかった。
 - ・岐路途中トップを少しだけしたが、夏山と違い要領を得ず苦戦した。
- (長島)

12/31(土) 快晴

7:05 南御室テン場

7:46 苺平

9:10 杖立峠

10:10 夜叉神峠

11:10 夜叉神峠登山口



早朝に起床、朝食のうどんを食べる。

この小屋の湧き水は凍ることもなく、おかげで雪を溶かして水を作る手間が省け、お湯を効率よく作ることができた。その後、テントを撤収して南御室のテンバを出発する。天気も良く、緩やかな登りを進むがトレースはしっかりしていて足は快調である。樹林の中をしばらく進むと、やがて苺平に着く。この先は一旦下って登り返すと杖立峠である。ここから夜叉神峠までは白峰三山を眺めながらの下山である。時折、富士山も見える。夜叉神峠では大休憩を取り、景色を眺めながらゆっくりする。ここでは多くの登山者がいて賑やかである。ここから登山口までは、ややきつい下りではあるがハイキングコースにもなっていて、軽装の登山者も含め、沢山の人とすれ違いした。テンバから出発して4時間ほどでようやく登山口に到着。道路は雪も無くホッとす。そして、車で刈谷へと向かった。途中、高速道路の諏訪SAに立ち寄り、温泉に入り汗を流した。

竹内 記

感想

三日間とも快晴に恵まれ絶景を楽しむことができ、良い山行となりました。

(竹内)

感想

今、鳳凰三山での冬山合宿は、八名と大勢で望めた事と、三日間とも快晴に恵まれ、また、大雪の報を耳にする中、殆どたいしたことは無く、すんなりと楽しく計画通りに行動する事が出来たことは、喜ばしく、また幸運だったと思う。白銀をまとった周囲の山々や、樹間から見た富士山とご来光には感動した。しかし、これがいつもの冬山であると安易に捉えることなく、冬山は殆どが悪天候、悪条件下での行動が伴う事を認識し、今後の登山活動でも安全マインドで取り組んで行きたいと考える。今回冬合宿を楽しむ事が出来、メンバーは元より、留守部員の方々に感謝いたします。

(亀山)

感想

新人とのんびり雪山を楽しめて気分のよい合宿でした
我々のルートを終始「白根三山」が3000m.から見ているような気分の風景でもありました。次回は南アのジャイアンツを狙って彼ら新人と「鳳凰三山」を見下ろしながら歩きたい思いです
天気と素晴らしいメンバーに恵まれて05年のピリオドにふさわしい山行でした

(町田)

感想

日本中が大雪、寒波の情報で騒いでいる中、鳳凰三山は例年並の積雪量で登山口まで車で入ることができた。好天にも恵まれ、白根三山、甲斐駒ヶ岳、八ヶ岳、富士山等の山々の展望を楽しむことができた。
たまには良い年もないとね…。

(金子)



感想

鳳凰三山は、18年ほど前初心者の私が、厳冬期(2月初旬)に、南アルプスを毎年レベルアップしようと自ら計画した、初年度の山域であった。御座石鉱泉から、ラッセルに苦しみながら進んだ山行を懐かしく思い出した。そして、観音岳から見る北岳は、雪こそ少ないものの当時の印象のまま鮮明に甦った。

(板倉)

【会計】

05年度 冬山合宿会計報告

2006.1.10

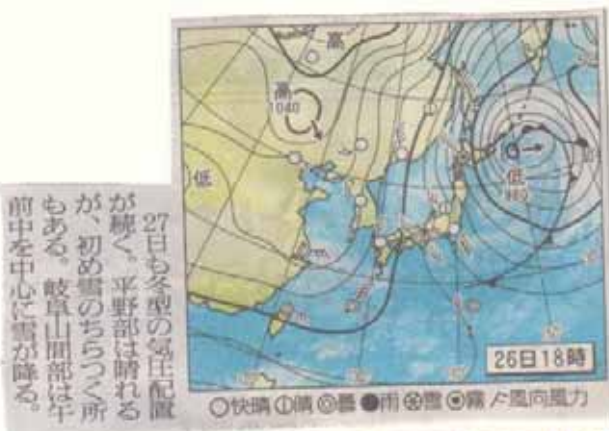
(円)

項目	内容	氏名	金額	残金
収入	10000×8名		80000	
	5000(忘年会費)		5000	
収入合計			85000	
支出合計			85000	
* 残金				0
支出内訳	食料		7900	77100
	食料	長島	5400	71700
	テン場代、ビール等		9800	61900
	高速代	亀山・町田	27200	34700
	ガソリン代	亀山・町田	24500	10200
	酒、ビール、その他	亀山・山田	6600	3600
	返金(450円/1人)	全員	3600	0
計			85000	0

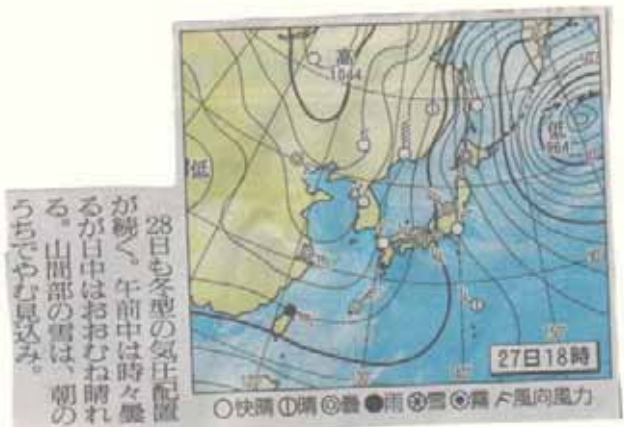
備考

- ・ガソリン代:(ハイオク145円/L、レギュラ135円/L)
- ・燃費:町田号(6.5km/L)、亀山号(9km/L)
- ・総走行距離:660Km

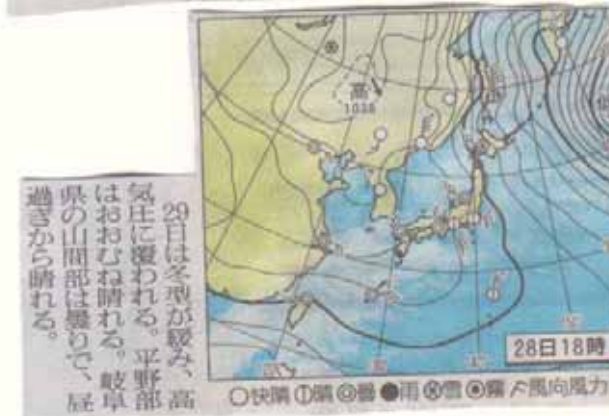
合宿期間中の天気図(12/26~31)



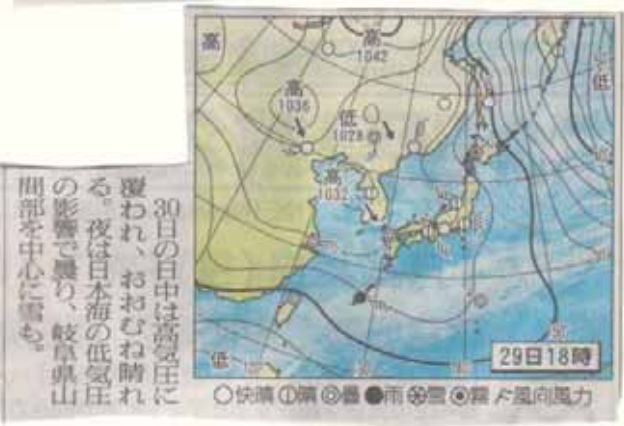
27日も冬型の気圧配置が続き、平野部は晴れるが、初め雪のちらつく所もある。岐阜山間部は午前中を中心に雪が降る。



28日も冬型の気圧配置が続く。午前中は時々曇るが日中はおおむね晴れる。山間部の雪は、朝のうちでやむ見込み。



29日は冬型が緩み、高気圧に覆われる。平野部はおおむね晴れる。岐阜県の山間部は曇りで、昼過ぎから晴れる。



30日の日中は高気圧に覆われ、おおむね晴れる。夜は日本海の低気圧の影響で曇り、岐阜山間部を中心に雪も。



31日は高気圧に覆われて、日中は各地とも晴れる。北西風がやや強くなり、寒さが続く。夜は気圧の谷の影響で曇が多い。



1日は弱い気圧の谷が通過し、次第に高気圧に覆われる。初め曇りで一時的に雨の降る所があるが、昼ごろから晴れる。

'05年冬山合宿を振り返り

【合宿準備】

今回合宿に至る進め方は、部長を中心に、かつてデンソー山岳部がきちんと踏んでいた、ステップを確実にこなしていった点は、雪山への構えとしては非常によかった。この点については、今後中堅を中心に後輩へと継承していただきたい。

【行動】

やはり、準備段階がしっかりしているため、各自メンバーシップを発揮され、特別な指示を出さなくとも、タイミングよくこなしていたと感じる。特に、若手二人の動きは積極的であり、良かった。また、コースについても新人中心の設定のため、積雪も多くなか、入山者も多いため新雪のラッセルとはいかなかった。そして何よりも3日間とも天候に恵まれ、行動もスムーズにいき、雪山の景色も堪能できた。

【装備・食料】

燃料については、天候もよく、小屋で水が出たこともあり、60%程度の使用量で済んだ(L-2本、S-1本)わかん・ビーコン・ゾンデ棒等は、結果として不要だったかもしれないが、雪山への備えとして、今後も携行していきたい。食料も担当の工夫があり、満足のいくものであった。内容ボリュームに関しては、山行に応じ軽量化、調理時間の短縮等の検討も必要である。(今回の山行内容であればよい)

【来年への課題】

本年度は、山岳部の方針である新人の獲得については、大きな成果をあげたので、来年度はぜひ、冬山の楽しさを共有できる仲間をひとりでも多く増やしたい。また、若手を中心に少しチャレンジできる山をめざしてもらいたい。

最後に留守部員をはじめ、ご協力いただきました方々には、この場をお借りしてお礼申し上げます